



鏡開きで新年のスタートを祝う関係者

ゲームや抽選会などで交流

富士宮地区
労働者協
115人参加し新年の集い

富士宮地区労働者福(長)の2019年第23
回新年の集いが18日、
社協議会(小林純一会)で開かれた。

クリスタルホール・パ
テオンで開かれた。同
会役員や会員ら約11
5人が出席して、新年
を祝いながら親睦を深
めた。

あいさつした小林会
長は「労福協として今
年も社会に目を向け頑
張っていききたい。皆さ
んの協力をお願いしま
す」と呼びかけた。

来賓の須藤秀忠市長
は「まちを発展させる
ためには企業を誘致
し、働く場をつくり、
労働者の皆さんの暮ら
しを豊かにすることが
大切。それが人口減少
の歯止めにもなる。市
として、企業が企業活
動しやすい施策をしつ
た。



あいさつする小林会長

かりと打ち立ててい
たい」と述べた。

引き続き、小林会長、
須藤市長、県労福協の
池富彰理事長の鏡開き
で新年のスタートを祝
ったほか、出席者全員
でゲームや大抽選会を
楽しみながら交流し
た。